

岡部 泰鑑 直前ガバナーへの 感謝の言葉

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 高島 凱夫

岡部 泰鑑直前ガバナーは、カルヤン・パネルジーRI直前会長のテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」、ご自身の地区方針「見直しをすすめ 新たな第一歩を」を実践すべく、PETS、地区協議会のご準備を万端整えられ、船出をお待ちになっておられました。しかし、PETSの直前、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって、岡部直前ガバナーは、ご自身の方針を大きく変更することを余儀なくされたと思います。しかし、敢然とその難局に立ち向かわれ、先ず「D2660災害支援プロジェクト委員会」を立ち上げ、東北の地に多くの支援を実施してこられました。これは、当2660地区では初めての50歳代のガバナーですが、実に冷静沈着なお人柄によるものか、と感心致しています。2012年度もそのご意向を引き継ぎ、東日本大震災支援活動を行って参りたいと思っていますので、多くのロータリアンのご協力を紙面をお借りしてお願い申し上げます。

もう一つ、岡部直前ガバナーの思いがこもった事業は、新クラブの創設でした。サンディエゴ・国際協議会からお帰りになった直後から「現在の社会情勢にあった、新しいタイプのクラブ」の創設について熱く語られていましたが、電光石火それに着手されました。バスト・ガバナーの横山 守雄ガバナー特別代表を中心に創立委員会を結成し、大阪アーバンRCを誕生させられました。2011年12月8日には、創立総会。今年2月6日にチャーターナイトを挙行されましたことは既に月信などを通してご存じのことと思います。このクラブは、2011～2012年度 日本34地区

でただ一つの新クラブです。ちなみに、同クラブは、事務局、事務局員は設けず、会員手作りのクラブ運営を行い、朝7時30分から例会を開始、終わってから出勤という新しいクラブです。

今年5月に行われましたタイ・バンコク国際大会でのRI会長賞の受賞という快挙も成し遂げられました。これは、会員維持率、新クラブ創設、R財団寄付額などのハードルをクリアした世界の地区で15位以内に入った地区に贈られるもので、当地区としては初めてのことです。

私の心に残った岡部直前ガバナーの功績を三つ述べさせて戴きましたが、まだまだ多くのことを当地区に残して戴いたと思っています。

これからもD2660の若いリーダーとして、地区のため、いや国際ロータリーのためにご活躍戴きたいと願っていますとともに、岡部 泰鑑直前ガバナーの指導力に心から敬意を表し、感謝の言葉といたします。

